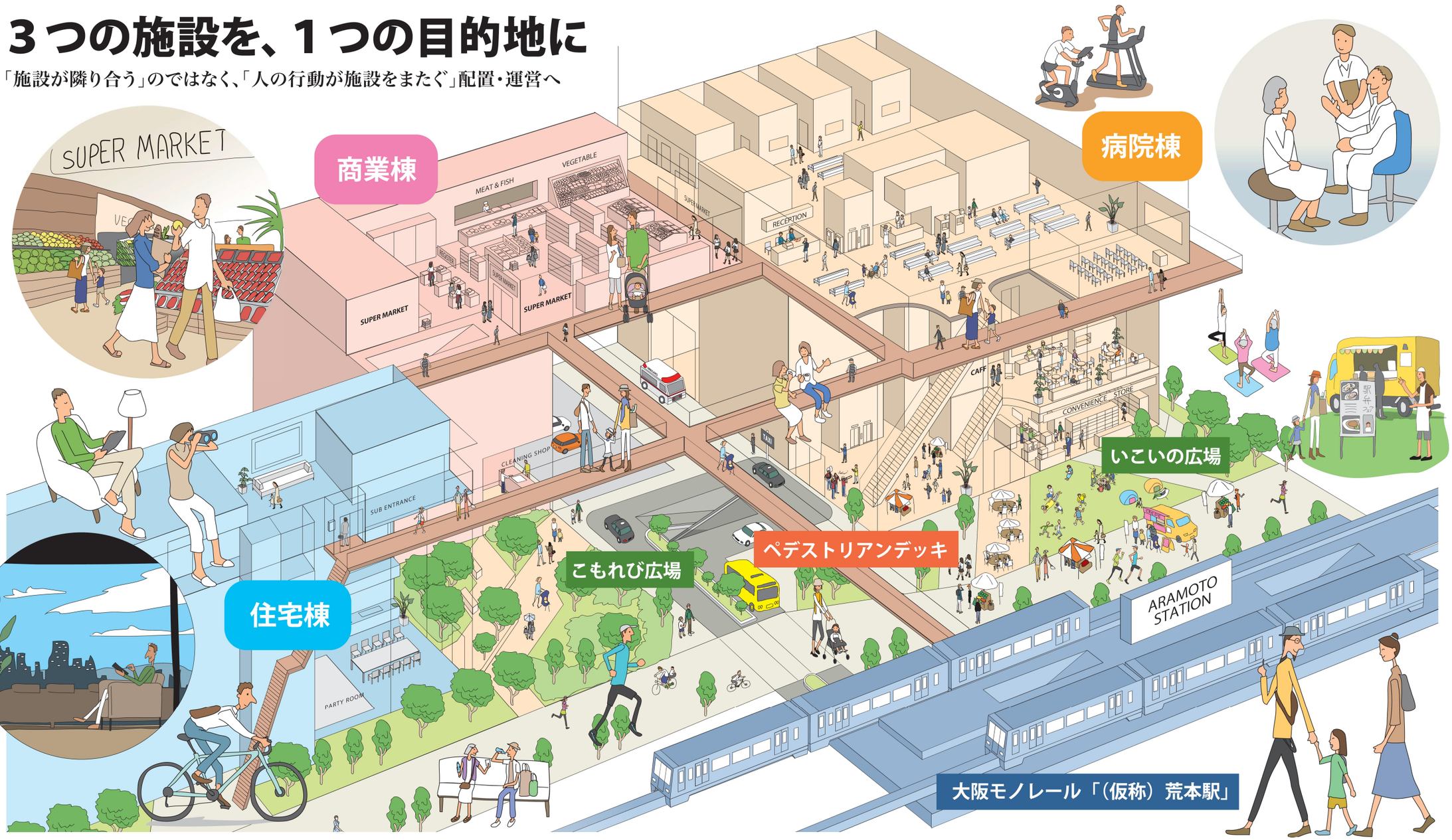
３つの施設を、１つの目的地に

「施設が隣り合う」のではなく、「人の行動が施設をまたぐ」配置・運営へ



本計画は、病院・商業・住宅を一つの複合施設に収めるのではなく、各機能の安全性と独立性を確保しながら、駅・多目的広場・ペデストリアンデッキを介して相互に利用できる**「分棟型の生活複合拠点」**です。住民は日常の買物や通院を徒歩圏で行い、病院利用者や職員は商業・飲食・広場を利用し、商業来店者は駅前の公共空間や地域イベントへ回遊します。いこいの広場（多目的広場）やこもれび広場に面する低層部には、不特定多数が利用できる入口・飲食・休憩・相談・共用等の**開放的な機能を配置**し、活動をまちへ開きます。**一つの目的で訪れた人に、もう一つの行動が自然に生まれる配置と運営**により、滞在時間と再訪理由をつくります。

※この内容は、事業予定者を選定した現時点のものであり、今後の関係各所との協議により変更となる場合があります。また、事業区域外の提案内容については、直接の評価対象とはしていません。